



撮影者:竹馬 浩

## 感動の山々

### ニッコウキスゲ咲く尾瀬

ミズバショウで有名な尾瀬は7月半ばにはニッコウキスゲの花盛りになります。この季節は梅雨の最中で、雨は覚悟で行かねばなりません。天気はその日のウンに任せるしかありません。海拔1,500mの高層湿原は初夏といっても肌寒く、雨具で全身を包み、傘をさして延々と続く木道を滑らぬように歩かねばなりません。カメラのレンズもメガネも曇り、写真を撮るのは決して楽ではありません。リュックサックを下ろす余裕もないままに、自分なりに一生懸命撮りためて、家に帰ってみるとガッカリすることが多いものですが、感動したその時の気持ちを写真に表現するのが楽しくて、またしても私は山に向かいます。この写真は今年のカレンダーに使われ喜ばれました。



## 理念

当院は大腸肛門領域の疾患を中心とした消化器専門病院として地域の医療に貢献いたします。

# 「きれ痔」ってなあに？

## 裂 肛 編



副院長 嶋村 廣視

ひとくちに「痔」と申しますが、「痔」には、「いぼ痔（痔核）」、「きれ痔（裂肛）」、「あな痔（痔瘻）」の3つがあり、それぞれ病態や治療が異なります。

今回は、「きれ痔」＝【裂肛】についてお話しします。「きれ痔」とは読んで字の如く、“肛門が切れること”です。症状としては、おしりの痛みや出血が主なものです。

### 【切れ痔のこと】

肛門は肛門縁（肛門の出口）から約1.5cmほどの表面が皮膚に似た上皮（肛門上皮）で覆われており、この部分は通常の粘膜より血流が悪く、また、便と直接接する所であるため、しばしば切れてしまいます。

切れてすぐであれば軟膏や排便の調整で比較的簡単に治りますが、元来、便秘や下痢など排便習慣に異常のある人は“傷”が癒える前に再び傷つけられてしまい、症状が長引くこととなります。これを繰り返していると“傷”の外側に突起が出来たり（みはりいぼ）、内側にふくらみ（肛門ポリープ）が出来てきます。この状態を「慢性裂肛」と呼びます。

さらに、切れ痔がこじれると

#### ①肛門潰瘍：

“傷”が深くなって治らない状態。痛みが排便後長時間続く。

#### ②痔瘻：

“傷”から“ばい菌”が進入して感染を起こし、トンネルが出来た状態。普通の痔瘻より浅い所に出来る。

#### ③肛門狭窄：

切れ痔を繰り返し、癒痕のため肛門が狭くなり、便が出にくくなった状態。ひどくなれば鉛筆も通らないくらいの狭さになることもある。

これらの治療には手術が必要になります。

### 【治療について】

治療は、まず保存的治療を行います。（これが基本です。）

#### ①保存的治療：

生活習慣の改善を図りつつ、軟膏や内服薬を用います。

#### ②手術療法：

それぞれの病態に応じた手術を選択します。

肛門潰瘍（+肛門ポリープ）

潰瘍切除（+ポリープ切除）

内括約筋側方切開術（LSIS）

痔瘻 開放術式（lay open）

肛門狭窄 皮膚弁移動術（SSG）

### 【日常生活で気をつけること】

#### ①便秘・下痢に注意

硬くて太い便を無理矢理出せばおしりが裂けます。かといって軟らかい便が出ていても下痢状態で何回もトイレに通ってもまた切れてしまいます。

症状が強いときは下剤（軟便剤）や下痢止め（整腸剤）で調整することもあります。

“ほどほど”が肝心です。

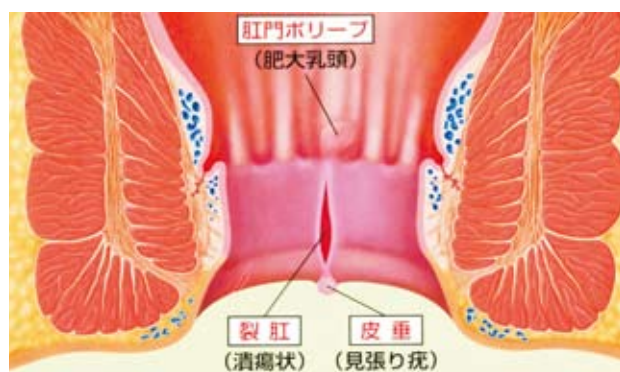
#### ②おしりを冷やさない 毎日お風呂に入る

おしりが冷えると血行が悪くなり、おしりの筋肉（肛門括約筋）の緊張が強くなります。

正常な肛門は排便の時には自然に緊張がゆるんで便を出しやすい状態になります。ゆるんでいない状態で便を出せばやはり切れてしまいます。

また、血行が悪いと切れ痔が出来てしまったあとの治りも悪く、慢性化しやすくなります。

肛門の痛み、出血といってもその原因は様々です。症状が続くときは早めに専門医を受診することをお勧めします。



<http://www.hi-ho.ne.jp/kubouchi/image12.jpg>より転載

# 院長・瀧上隆夫『松岡良明賞』受賞

山陽新聞社会事業団よりがん撲滅に功績のあった個人、団体をたたえる「松岡良明賞」の平成22年度受賞者として当院院長 瀧上隆夫が選ばれました。

同賞の選考は岡山健康づくり財団が行い、山陽新聞社の元社長、故松岡良明氏の遺族から運営を委託されている同社会事業団が決定しており、今回で15回目を迎えます。がん征圧月間の9月8日、岡山市北区柳町の山陽新聞社で表彰式が行われました。

瀧上院長は1982年に渡米。国内で1～2時間かかっていた大腸内視鏡検査を10分に短縮する手技、鎮痛剤で苦痛の少ない検査法を学び、帰国後2年間かけて検査、



治療法を確立しました。胃、大腸でそれぞれ6万5千例を手がけ、内視鏡検査によるがんの早期発見への尽力が評価されました。

「この度の受賞は、指導していただいた諸先生方、病院スタッフ、そしてなにより一人一人の患者さんのおかげです。この賞に恥じないようこれからも医療の道を歩みたい。」と今後も更なる意欲を燃やしています。



## スタッフリレー

Staff relay

## 瀧上隆夫 院長 プロフィール



院長  
瀧上 隆夫

岡山県上房郡北房町（現真庭市）出身。

昭和53年岡山大学医学部卒業、同年チクバ外科胃腸科肛門科病院就職。昭和57年ニューヨークで新谷弘実先生に師事し、大腸内視鏡検査の研修。ロンドン、セントマークス病院で大腸肛門病の研修。昭和58年チクバ外科胃腸科肛門科病院に復帰、平成12年同病院院長に就任。

《趣味》将棋 五段  
囲碁 二段  
内視鏡検査 初段



## 病院機能評価Ver.6の認定取得

病院機能評価とは、医療機関の第三者評価をする財団法人日本医療機能評価機構が病院からの委託に基づき行うものです。病院に必要なすべての機能につき一定の基準を満たしているか否かを評価し認定されるもので、基準に達していない機能については改善を図り医療の質を高めていこうとするものです。

この度当院が認定されたバージョン6.0 (Ver.6) は、「患者の権利と医療の質と安全」「病院組織の運営と地域連携の役割」など6つの領域を対象として行われました。

5年前のバージョン4.0 (Ver.4) からの更新審査でしたが、これからも患者さんに満足していただける病院であり続けるために、私達職員一人一人がバージョンアップしていかなくてはならないと思っています。



## チクバ外科病院が倉敷市建築文化賞『優秀賞』に

倉敷市より昨年11月12日、美しい景観づくりに貢献している建築物を顕彰する「第10回 倉敷市建築文化賞」の一般建築部門の優秀賞に当院が選ばれ表彰されました。倉敷市建築文化賞は3年ごとに行われ、審査対象9件の建築物の中からの受賞で、洗練されたデザインに加え、白を基調とした外観が清潔感を醸し出しているという点が評価の対象となったようです。

もともと設計の段階より「専門病院らしい機能性と清潔感を重視したシンプルな造り」をコンセプトとしていたので、その点を評価されたことは非常に喜ばしいことだと思います。



## 当院へのアクセス方法

Access

### 高速道路から

瀬戸中央道の水島インターで「玉野岡山方面」出口から一般道へ。二つ目の信号交差点「郷内」を右折し、次の信号を左折。水島インターより約3分。

### 一般道から

県道児島線を見島方面へ向かい、水島インター手前のガソリンスタンド（JOMO）のY字路を左方向へ。

### JRでは

JR瀬戸大橋線の茶屋町駅で下車。タクシーで約10分。

### バスでは

倉敷駅から下電バス「見島行き」で約25分。「曾原口」バス停にて下車。徒歩約1分。

### 診察受付時間

〈受付時間〉午前 8:30~11:30  
午後 13:00~17:30

〈休診日〉木曜日 午後・日曜日・祝祭日

